

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座【上北地区研修】

5月31日(水)14:00~16:00 県総合社会教育センター 受講者61名(オンライン含む)

### 1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図ることを目的に、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を行う。

### 2 内容

【講義】「持続可能な地域づくりに向けた、

生涯学習・社会教育関係職員の役割と人財の育成」

日本人財発掘育成協会「Jinzai-Japan」

理事長 坂本 徹(さかもと とおる) 氏



### 3 講義要旨

- 持続可能な社会とは、現代の各世代の要求を満たしながら、将来の世代が必要とする環境や自然を損なわない社会だと考えています。持続可能な地域をどのように実現していけばよいのでしょうか。
- 地域は「人」で構成されています。地域人材の育成こそが、持続可能な地域づくりにつながっていくのです。
- 人材育成とは、「主体性」を引き出すことです。そのための環境を整えて、我々が仕掛けをしていきましょう。「講座依存」から脱却し、新しい手法へと考えを巡らせましょう。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	31%	どちらかと言えば満足	55%
どちらかと言えば不満足	14%	不満	0%

(受講者の感想)

- ・講座依存からの脱却について、協学・実践・繋ぐに変えていき、このことが主体性を引き出す環境整備やその仕掛けとなり、今後の人材育成に重要であること等、自身の新たな気付きになりました。
- ・人材育成は教育界でも大事な部分になってきています。大変参考になる講座でした。
- ・社会教育と学校教育を繋ぐ、人材育成のアイデアをいただきました。ありがとうございました。
- ・主体性を引き出すためには、講座や授業のような受け身のものからは脱却する必要があることを学びました。

本研修は、講師 坂本氏から3つのキーワードの「協学」「実践」「繋ぐ」が提示され、それが主体性を引き出すこと、持続可能な地域づくりにつながるということを、具体的な事例を交えながら示唆されていました。社会教育は、様々な立場や年代の人々がつながり、現在、取り組んでいることが未来につながっていきます。すぐに成果や結果が見えることは少ないですが、「協学」「実践」「繋ぐ」を意識して取り組み続けることの大切さを学ぶよい機会となりました。